

第5回（仮称）彦根総合運動公園整備計画検討懇話会 議事録

- 日時：平成27年4月30日（木）9：30～12：00
- 場所：滋賀県大津合同庁舎7－A会議室
- 出席委員（五十音順、敬称略）：
一圓 泰成、岩根 順子、植西 正寿、岡田 和男、河上 ひとみ（副座長）、川嶋 典明、
北村 収、西條 智晴、坂 一郎、下山 隆彦、武田 史朗、濱崎 一志、原 陽一、
松岡 拓公雄（座長）、
（欠席委員 佐藤 馨、只友 景士、山田 和代）
（事務局 木村国体準備室長、国体準備室員）
（彦根市 岸田国体準備室長ほか5名）
- 配付資料：別添のとおり

【議事録】

1. 開会

2. 説明・報告事項

(1) 委員交代の報告

- ・滋賀県高等学校保健体育研究会会長 辻井 美恵子委員
→同会長（守山北高等学校校長） 川嶋 典明委員
- ・彦根市都市建設部部長 山田 静男委員
→同部長 下山 隆彦委員

(2) 事務局増員2名の報告

3. 審議事項

(1) 公園整備基本計画（施設計画）の検討について

①主な施設の整備水準

- 【資料2】：第1章（2）検討課題、第2章 2-1（1）4）駐車場・駐輪場（P1-5～2-8）、
【資料3】：1 先催県における陸上競技場の施設規模について（P-1）、3 駐車場・駐
輪場台数の算定（P-5）参考を事務局より説明。

・質疑応答

（座長）

事務局から施設の具体的な規模が説明されましたが、ご意見は如何でしょうか。

（委員）

詳細については、これからも検討する必要があるが、協議時点と最終決定が全く変わっているということの無いようにして頂きたい。

第3種陸上競技場の照明設備は整備しないという話だが、第1種陸上競技場は、全国大会や国際大会に向け、また、第3種陸上競技場は、学生や勤労者が学校や仕事が終わってからジョギング等に使用する等様々な形で使用出来ると思う。彦根市の冬は特に日が暮れる時間が早いので、今までの使用方法では市民にとってそういう使い方ができないと思う。

今までになかったものを作るのが「新たに整備する」ということだと思うので、照明設備は必ず設置し、身近な施設を利用して市民が楽しめる場として整備して欲しい。

皇子山陸上競技場は、21時まで開放されており、近隣の市民（特に高校生や大学生等）に非常によく活用されているので、この事例から見ても夜間利用のための照明は必要だと考えている。

（座長）

諸室以外にも必要な施設が出てくるかもしれないが、その辺りは臨機応変に対応して頂きたいという事と、設置基準に記載されていないので第3種陸上競技場の照明設備は設置しないということだが、照明があれば夜間利用も増え、利用の仕方が変わってくるのではというご意見に対し、事務局の考えは如何ですか。

（事務局）

現在は「現有機能の確保」を一番に考え、第3種陸上競技場は、現第2種陸上競技場と同等、場合によっては多目的広場のような活用もできればと考えている。現第2種陸上競技場は夜間利用していないことから、第3種陸上競技場は夜間利用しないという考えを持っている。今後住民の方々等からの意見も踏まえ、更に検討していく必要があると考える。

（座長）

当懇話会は、残り1回開催予定だが、その際にある程度の答えが出てくるようなスケジュールですか。

（事務局）

住民の方々への説明会は、まだ先の予定であり、設計段階での情報交換も想定している。先ほどの第3種陸上競技場には夜間照明を設置した方が良いというご意見は、どこかに記録する等させて頂きたい。次回懇話会までに対応させて頂きます。

（委員）

施設規模について、資料３：１ 先催県における陸上競技場の施設規模について 表１ 第１種陸上競技場・主な施設計画（P1）に各事例の高さが表記されている。計画予定の第１種陸上競技場について今後の設計で考えられていくようだが、施設の平面規模や導入する要素に加えて高さの話も施設規模の中で考慮いただきたい。

（座長）

本編第１章（２）検討課題 表１.１ 基本計画の検討課題(P1-5)の中で、施設規模、特に第１種陸上競技場の高さの話を読み取れないかと思って見ていたが、形態の話を項目として入れたほうが良い。過去の資料で法規制への対処等あったので、その辺りを示せる項目が欲しい。

（事務局）

第１章（２）検討課題 表１.１ 基本計画の検討課題(P1-5)では No2『第１種陸上競技場の規模や仕様』で何がしかの対策を落とし込めればと考えており、この項目の『・規模や形状や…』という所で引き続き協議していきたいと思っている。後ほどご説明させて頂くが高さ検討についての項目があり、そこで検討させて頂きたい。

（委員）

第１章（２）検討課題 表１.１ 基本計画の検討課題(P1-5) No9『公共交通アクセスの向上』とあるが、道路整備工事に伴う車両の出入り等で周辺の幼稚園や小学校、高等学校に通う子ども達の安全が阻害されないように、そこを最優先に考えて頂きたい。整備にあたって北側道路が出来ないのであれば西側道路から入るということに限定しないと子ども達の安全確保が出来ないと思う。

（事務局）

子ども達をはじめ、周辺地域の皆様への安全というのは今までの住民説明会等の中で１番、２番を争う大きなテーマであった。我々も大変重要な課題として認識しており、彦根市の道路計画と本計画をマッチングさせていきたいので、これに関しては引き続き進めていく方針です。

（座長）

それは基本計画の中のどこかに含まれていますか。

（事務局）

第１章（２）検討課題 表１.１ 基本計画の検討課題(P1-5) No8『周辺道路の安全確保』に含んでいます。

(1) 公園整備基本計画（施設計画）の検討について

②基本計画プランの検討

- 【資料１】(P2-8)、【資料２】:第１章（２）検討課題、第２章 ２-１（１）５庭球場(P2-9)～(２)３環境の保全と創出（P2-22）、第２章 ２-１（３）１基本構想時のゾーニング(P2-26)～第２章 ２-１（５）諸施設の検討と設定(P2-36)、第２章 ２-１（５）２植栽(P2-45)～第２章 ２-１（５）５駐車場・駐輪場(P2-60)、第３章 ３-１（１）プランの検討(P3-1～P3-3)を事務局より説明。

・質疑応答

(委員)

２案があるということだが、それをどちらかに選ぶというご説明なのか。それぞれ違う２案についてどちらにするのか本日決定するということでしょうか。

(事務局)

まずはこの２案についてご意見を頂きたいと考えている。

(座長)

資料１ 基本計画プラン比較表で、案１の長所として『大規模災害時等に必要となるフリースペースとして多目的広場を活用できる』と記載があるが、案２の緑の広場でも災害発生時に活用できるのでは。

(事務局)

その点に関する多目的広場と緑の広場の違いは、「平坦な」というところが比較する上でのキーワードと考えている。大規模災害時にはトラック等大型車両が入ってきて荷下ろしして仕分けして、また発車という作業が想定され、テントを張る等を想定すると「平坦」な方が良いという考えを持っている。

(座長)

案１と案２のどちらが良いかという議論になると思うが、皆さん如何でしょうか。

(委員)

ご提示された案１と案２のブレンド案として、多目的広場を案１のように配置し、庭球場を外して案２の緑の広場を配置する案というのはどうか。これまでの懇話会の中で庭球場の存在は色々議論されているが、提示された２案から、どうしても庭球場を入れたいと感じられる。だが、緑の広場は大事だし、多目的広場も災害時のフリースペース

としたり、大規模大会時の臨時駐車場とする等活用方法は様々で、整備すると良いと思う。

事例として、皇子山陸上競技場の横に多目的広場（野球場4面利用可）があるが、大規模大会開催時は、駐車場やウォーミングアップの出来る場所に利用されており、限られた施設で様々な活用方法ができる場を残している。大規模大会時は、車で来園する方が多い中、駐車場が無いと多くの人が路上駐車する。皇子山も昔はそうだったが、多目的広場を整備することで近隣住民の迷惑にもならず、スポーツ施設として利用が多くなる。本計画地も庭球場のみと固めるよりも、少年野球場としての利用や臨時駐車場としての利用ができるようにした方が良い。多目的広場は様々な形で活用できるので整備すれば良い公園になると思う。

（座長）

懇話会の始めの頃にどの運動施設を残すかという議論があり、その上でなぜ庭球場を残すのか事務局から説明があった。庭球場は、かなり収益が上がる施設であり市民からも親しまれているということだったが、提案がありました多目的広場と緑の広場を配置する案を案3とし、庭球場をどこかへ移設というのはいかがでしょうか。

（事務局）

ご提示した2案を考える際、庭球場、多目的広場、緑の広場の3施設をどう組み合わせるのかというのがテーマだった。庭球場を選択した理由は、県域以上の公式大会を開催するには県立の施設が必要という背景がある。市民利用の庭球場としては大津市内に20面の大きな施設があり県内最大だが、市民利用が優先されるので県域以上の大規模大会を定期的に開催するのは施設管理的にも認めて頂けないという状況があるので、県立の庭球場を確保したく考えている。

県立施設の状況としては、滋賀県立長浜ドーム、滋賀県希望が丘文化公園、滋賀県立彦根総合運動場の計3カ所がある。硬式のテニスで大会を開催するには20面必要となるが、無い場合は12面、12面として2箇所に分けて開催する事となる。県立の3施設は全て20面を取れておらず、3施設中の2施設を使い大会を開催しているのが現状である。その中で長浜ドームと希望が丘文化公園の2箇所で開催すれば良いのではという話になると思うが、長浜ドームは、全天候型で天気によって左右されることなく定期的に利用できるため予約で埋まっており、ここで県域以上の大会で利用すると市民の方はなかなか利用できなくなる。希望が丘文化公園も休日は84%程度の稼働率と利用率が高く、県域以上の大会開催でべったりと押さえられないため、県立の3施設で開催しているという状況がある。先の2施設は、彦根総合運動場よりも利用率が高く、庭球場をそちらへ移設するというのは実態として難しい。ご提案いただいた案3のようなプランも考えたが、このような理由から提案させて頂くには至らなかった。

(委員)

希望が丘文化公園や長浜ドームも同じ県立なので、話の折り合いをつけながら、どこか1つの施設で全国規模の大会のできる庭球場を作るということはできないか。本計画地に庭球場を作っても、ここだけで県域の大会は開催できないでしょう。市民のための庭球場は、金亀公園の方にある庭球場を利用させて頂き、県としてはこれを機会に希望が丘文化公園や長浜ドームに大きな施設を作るという話に持っていけないか。

(副座長)

それぞれの施設は、競技スポーツ用として大規模大会で土日利用される事が主になってくると思うが、過去の懇話会で市民が一番利用するのが庭球場であり、平日でも利用率が高いと事務局から説明があった。スポーツのみの話なら庭球場移設案も考えられるが、国体後の事も考えるとスポーツをしない人の出入りも重要である。大規模大会利用時のことばかりクローズアップしているが、本当に県民・市民のために充実した施設とするのなら緑の広場を整備し、「スポーツをしない人々も憩い集えるような施設」というところに重点を持っていくべきではないかと考える。

(座長)

緑の広場を整備する案2の考え方で良いのではということですね。

(副座長)

そうです。第1種陸上競技場をはじめとする他施設のように土日中心に競技スポーツをする人の施設というよりは、市民が普段から活用しやすい緑の広場と庭球場を残す方が、様々な人々の利用が見込める施設になるのではないかと思います。

(委員)

東側の三角敷地は本当に用地買収出来ないのか。ここに緑の広場を整備するスペースがあると思うし、先程から議論にある庭球場、多目的広場、緑の広場の配置についてある程度クリアできるのではと思う。

(座長)

第4の案ですね。事務局はその辺り検討されたと思うがいかがか。

(事務局)

当懇話会開催前に、東側の三角敷地に隣接する計画地の幅が30m程しかないことから、当該部分の拡張について検討したが、全体の事業規模を考える中で用地買収費や補償費

等に多額の費用が発生することや、そこで生活拠点をお持ちの方にとっても影響が相当大きくなると考えた。さらに、大変短い期間の中で全体スケジュールを動かしていかなければならないことを考え、当該部分の確保は断念することとした。これは本計画を前へ進めていく上で重要なことだと考えている。

(委員)

私は緑の広場があり、それをエントランスの近くに配置する案2が一番良い案だと思う。市民は競技場のみで固めると関心が薄れる。今、彦根では国体で盛り上がっているが、この地域から離れた人はあまり関心を持っていない。ここへ来てもらえればスポーツに対する関心が高まるし、そこから将来的に若い良い選手が出てくるという可能性もある。案1のようにエントランスの近くに庭球場があって夜は何も無いという形にするのは良くない。できるだけ市民に来てもらい、楽しんでもらう、その内に色んな競技に興味を持ってもらうことが大事。案2は来園すれば皆が楽しめる良い案だと思う。

(座長)

庭球場に関してはどうでしょう。

(委員)

最初、庭球場は不要と考えていたが、最近はテレビ等でプロテニスプレイヤーが毎日のように出てくるので、世間の関心も高いと思う。だが、それを案1のように公園の真ん中に配置する必要は無いと思う。

(委員)

私は競技関係者ではないので実態はよくわからないが、多目的広場のようなフレキシブルなスペースが無いと陸上競技場を運営していく上で何か支障が出てくるのではないかという気がする。第1種・第3種陸上競技場だけで上手く運営できるのか。

庭球場の是非について意見は無いが、別の場所で確保できるのであればそれに越したことはない。第1種陸上競技場を活かすという意味で多目的広場が絶対に必要なのか、そうでもないのかというご意見を伺いたい。

(座長)

多目的広場は、第1種陸上競技場に直接関連するものではないが、公園全体としてこういうポケット的なスペースがあると非常事態時の対応に使える。庭球場等で埋めてしまうと、そのような場合に対応できないのであれば、庭球場を移設した方が良いという考えもある。

(事務局)

庭球場については我々も悩んだ。本計画は、陸上競技場を作るのではなく、総合的な屋外スポーツ施設を整備したいという思いがあり、ここに第1種陸上競技場を整備し、それを中心施設として進めていく方針である。本計画地が県立のテニスの施設として非常に重要性を持っている施設であることから、ここは庭球場でいきたいと考えている。副座長が仰ったように、スポーツに関係ない人々も集える緑の広場が必要だということと、スポーツ利用者も集えることは非常に大事なことであり、両方を睨みながら計画しなければならない。この事から庭球場は本計画地で整備するという考えを持っている。

(委員)

庭球場の是非から外れるが、案1、案2を見ていて、案1は庭球場の収まりが苦しいと感じる。野球場との距離や、ここにフェンスが設置されること等を考えると、機能は入るが、ここを訪れた際に紹介されて、「良いものが出来ました」と言われても苦しい空間になるのではと思う。庭球場を入れるのであれば案1の配置、形状では厳しいと思う。

(座長)

確かに園路の検討資料を見てもここは狭いと感じる。

(事務局)

園路の幅員は、案1では庭球場と野球場の間隔は8m程度確保でき、現状の第2種陸上競技場と野球場との間隔が最小8mなので現状と同等の間隔は取れる。案2の方がゆったりとしているというのは間違いないが、近江高校グラウンド側園路についても、資料2第2章 2-1 (5) 3)園路・広場(P2-49)の【2.幅員 3.5m(上下動線あり)】のように幅員7mは確保できるので、車が通らない人のみの園路としては十分な間隔が取れると考えている。

(委員)

機能配置として収めていくとそうになってしまうが、歩けば良いというものを作るのはあまり良いことではない。委員の皆様の中には海外の事例等ご覧になっている方も多いと思うが、市民にとっても必要なのは『ゆとり』であり、これからすごく重要になってくると思う。

(委員)

資料1 基本計画プラン比較表(P8)の『近隣の運動施設を利用』に『×』としているが、これは金亀公園のことでしょうか。市立や県立という境を設けるのは良くないと思う。金亀公園は野球場の抽選が大変らしく、年中夜間照明が光々についているということも

あるので、高さ制限、照明の問題から金亀公園の野球場を他所へ移設し、計画地の庭球場をそこへ配置することはできないか。事務局の説明にあったように、全体として運動公園という考え方をすれば金亀公園にも庭球場はあるとなるが。市立、県立の境界を外して一体利用とすれば、例えばプールの移設等も金亀公園で出来るのではないか。埋め立て地なので難しいかもしれないが。この『×』表記はどのような意味になるのか。

(事務局)

この『×』は、金亀公園が利用できないということではなく、(仮称)彦根総合運動公園の中で、軟式野球、ソフトボール、硬式野球のウォーミングアップをする場所がないという意味で『×』と表記させて頂いた。ではその『×』をどのようにして担保するのかという意味で『近隣の運動施設を利用する方法がある』という意味である。現状、庭球場と多目的広場は、市立の金亀公園にも県立の彦根総合運動場にも存在し、金亀公園でイベントがあった場合には県立総合運動場の駐車場を利用されている。こういった関係は今後も続けていきたいと考えている。後に資料の中でもご説明させて頂くが、『一体利用』という項目があるので、より一層連携を深めていくものと考えている。軟式野球、ソフトボールは、土グラウンドが必要になるので、多目的広場が無い場合は金亀公園の施設をご利用頂く考えである。

(委員)

金亀公園と(仮称)彦根総合運動公園の一体利用に関するご意見は、重要と考える。案1では『ゆとりある公園』にはなっていないので、案2が非常に良い案だと思う。現在、彦根市では金亀公園の再整備を検討しており、その再整備と案2がリンクしないか彦根市に意見を伺うと良いと思う。

(彦根市)

彦根市としては、世界遺産登録に伴う景観対策のため、『ゆとりのある公園』の整備を以前からお願いしており、その考えからすると案2が望ましいと考える。庭球場と多目的広場のどちらかを外部へ移設するという話について、隣接している金亀公園の野球場は、老朽化のためリニューアルが必要になっているほか、景観上の問題から野球場の照明灯をどうするかという議論もある。その中で彦根市としては、庭球場を金亀公園に配置するとテニスに偏った施設になってしまうが、多目的広場であれば金亀公園へ移設することができ、野球場に代わる施設になるのではないかと考えている。ただ、財政上の問題もあるため、市の中で議論しており、まだ確定できていない。次回の懇話会にはその辺りの方針を明確にお示しできればと考えている。現在、多目的広場を金亀公園の中で整備することを、彦根市は検討していることをお知らせさせていただきます。

(座長)

色々な連携をされて非常に前向きに話を進めて頂いていると思います。彦根市から多目的広場を金亀公園の野球場のある場所に移設できる可能性があるという話があったが、多目的広場は第1種陸上競技場のそばにないといけないでしょうか。

(委員)

金亀公園と本計画は、間に県道を挟むため距離感がある。私は、競技関係者ではないので明確にお答えできないが、フレキシブルな場が近くにあった方が良いと思う。多目的広場は、第1種競技場のためだけではないとのことだが、第1種競技場は彦根にしかない。

(座長)

彦根市の金亀公園の施設と滋賀県の(仮称)彦根総合運動公園が、将来的には1つになっていくような計画が望ましい。現在は県道を挟んでいるが、ランドスケープ等の計画の中で単なる橋ではなく、ある程度幅を持った広場で繋がっていく等、上手く繋ぐような構想まで考えていければ良いのではないか。今のうちから金亀公園との連携が強まっていくと1つの布石として非常に良いと思う。

(事務局)

先程、彦根市から検討状況のお知らせを頂き、多目的広場の金亀公園への移設をご検討頂いているとのことでした。彦根市は2つの柱を持っておられ、1つは公園、もう1つは世界遺産ということで、2つとも両立させるというお話を伺っている。その中で、今後、市内部でご検討頂くものと考えているが、我々が案1、2を選ぶ際に彦根市がどのようなレベルでお考え頂き、ご提案頂けるのかを担保させて頂かないことには多目的広場を本公園から除くというお話は出来なかった。

案2の多目的広場については、資料1 基本計画プラン比較表(P8)にあるように、『代替施設として第3種陸上競技場の活用を想定している…』と記載しており、80%以上の競技については第3種陸上競技場で競技が可能というスタンスで案2を提示させて頂いている。第6回懇話会に向けて彦根市とは『一体活用』というテーマで協議を進めていく予定であり、第6回懇話会開催時には、案を1つに絞り、進めていく考えである。現状は案2に大きなウェイトがあるということではなく、両案フラットにお考え頂きたいのでよろしくお願いします。

(委員)

話が戻るようで恐縮だが、近江高校や城北小学校側に敷地を拡張するというのは無理なのか。ここが拡張できれば緑の広場、多目的広場、庭球場が全て配置できるのではな

いか。先程の三角敷地と違い、公共に近い敷地なので、もう一度仕切りなおすということとはできないのか。

(事務局)

検討段階では、近江高校のグラウンド部分を含めて敷地を設定しようという議論があったが、このグラウンドを移転するのに移転費用 5 億円程度が必要となる。城北小学校のグラウンドも面積換算で同等の多額な費用が発生すると考えられる。近江高校の本体ごととなってくると、県立高校の例でいくと 50 億円ほど必要となるので、それだけの費用を用意できないという結論に至った。さらに、公園敷地の面積規模については、都市公園法の運動施設面積率や建ぺい率などを元に、最小限の規模である 22ha となった。以上のことから、この形状になったもので、近江高校、城北小学校の移転についての検討は困難な状況です。

(委員)

近江高校側は拒否されているのですか。

(事務局)

近江高校は、学校本体とグラウンド以外に隣接して土地をお持ちで、そちらをお分け下さいというお話はさせて頂いたが、学校本体やグラウンドの移転については協議させて頂いていない。

(座長)

その辺りの可能性の確認を取っていないということですね。方針としては、予算の関係上難しく、22ha という規模で施設整備が可能ということで進めることになった訳ですね。将来的に、ここを活用していくというのはあると思うが、第 3 種陸上競技場の向きはあまり変えられないので、今の配置も悪く無いと思う。

(委員)

私は、資料 1 基本計画プラン比較表(P8)を拝見した際、緑の広場も多目的広場も必要だと思うので、単純に庭球場がなければ長所、短所全て上手くいくのではないかと思ったが、先程事務局から庭球場は市民の利用率が高いというお話を伺い、必要性を感じた。ただ、彦根市が多目的広場なら金亀公園へ移設の可能性があるかと仰っていたが、庭球場を移設することは財政上無理なのか。

(彦根市)

金亀公園には、現在市民の方々に利用されている庭球場が 6 面あり、一方で多目的競

技場と野球場がある。今年度作成予定のリニューアル計画に際し、庭球場を金亀公園へ移設すると庭球場メインの公園になってしまう。金亀公園は、様々な市民の方々にご利用頂いており、近隣の学校等にも利用されている。こうした中、庭球場ばかりに偏った公園にするよりも現有施設とミックスできるような公園にすべきと考えている。

(委員)

現在、金亀公園には庭球場 6 面と多目的競技場、野球場があつて、それにプラスして計画中の庭球場 12 面を入れるというのは無理か。

(彦根市)

金亀公園から何かを無くさなければ庭球場を新たに 12 面配置するスペースは無い。野球場を無くして、庭球場を 12 面移設すると庭球場ばかりの偏った公園になってしまうので、それよりは今の利用形態を考慮し、多目的広場を移設することが最も適切と考えている。

(委員)

今のお話だと、県公園に多目的広場を設置し、野球場は県公園の既存施設を使えるので、金亀公園は野球場を無くし、庭球場だけ移設し 20 面整備したらそれで県域の大会ができるのではないか。県立、市立という考えでは無く、全国的に発信するとか観光という観点から考えても、バラバラと施設が散らばるよりも、まとまっている方が良い。

また、先程の用地拡張の問題も、現在は無理かもしれないが、明日明後日の問題ではないので継続してお考え頂きたい。どこか他の名目で予算を取ってきてでも用地買収した方が良い。彦根市民として「なぜこんなもの作ったんだ」と言われたくない。もう少し頑張ってもらえないか。その副案として、用地買収出来なかった場合はこうするというプランとして今のプランを提示した方が良いと思う。

(座長)

委員の意見は、近江高校のグラウンド辺りの敷地形状のためだと思う。確かにここは緑の広場等配置検討でネックになっている。敷地拡張できればゆとりが生まれ、良いと思うが、本日の事務局の回答では難しい面があるようなので、本日頂いた意見をお考え頂いた上で次回発表する等して頂きたい。

(委員)

体育教師としての感覚から、様々な世代でスポーツのニーズが高まっていることを感じる。多様な施設を整備しておくことは、国体終了後の市民の方々の健康や、選手達の競技のためにも様々な施設を利用したいという方々もおられるので、その観点から案 1

というのも頷けるし、『ゆとりある運動公園』という観点では案２も頷ける。

ただ、彦根市から金亀公園に多目的広場を移設できる可能性のお話も伺ったので、それも踏まえて検討していただきたい。私としては、できるだけ沢山の運動施設を整備して欲しいと考える。

(委員)

案１、案２でエントランス広場の植栽配置に違いがあるが、どういう意図か。

(事務局)

緑の確保という観点から案２は緑の広場を配置しているが、案１は緑の広場が無いので、緑を極力確保しようと、並木の配列を３列とした。

(委員)

30m 以上の幅のドライな場所は、日常的に非常に暑くなる場所である。基本的に、こうした場に緑を増やすことは重要だと考える。駐車場については、駐車台数を最大限確保しているものと思うが、植樹する基盤をしっかりと整備すれば植樹は可能であり、駐車場自体の緑化を当初の計画に入れて頂きたい。広い公園に車ばかりが並んでいるという風になりがちなので『緑化』というキーワードを全面的に入れて頂くことが重要と思う。

(座長)

『ゆとりのある緑化』というのも念頭に入れて頂きたい。

(1) 公園整備基本計画（施設計画）の検討について

③諸課題の検討

- 【資料２】：第２章 2-1 (5) 1)第１種陸上競技場高さの概略検討(P2-37～P2-44)、第２章 2-1 (6)地盤対策の概略検討(P2-61)～第２章 2-1 (8)周辺施設との一体利用(P2-67)を事務局より説明

・質疑応答

(座長)

建物の高さに関して、彦根市風致地区の高さ制限 15m をクリアしなければならないが、技術的に工夫して頂き、ベース案の約 23m や、階層構成の変更、掘り下げや土盛りにより、制限値にかなり近い数値に持っていけるという感触を得た。これは基礎の問題等に絡んでくるので、この辺りは次の課題となるが、基本的には風致地区の規制を守り、高さを極力抑えていただきたい。

(委員)

資料2 第2章 2-1 (5) 1) ■対策案-3(P2-41)では、土を掘り下げることにより高さ調整しているが、これは2 m 程度が限界なのか。例えば、4 m 等は無理か。

(事務局)

資料2： 第2章 2-1 (5) 1) ■対策案-3(P2-41)に記載されている課題が発生してくるのだが、日本陸上競技連盟の基準では、フィールドレベルと B1 階のダッグアウトの差が 50cm までとされている。この基準を守りフィールド部分を下げると地下水位の問題が生じる他、芝生への影響も考えられる。

(座長)

掘り下げについては、ある程度可能だが、限度があるということで、今後の検討課題と考える。

(委員)

屋根は固定式でないといけないのか。屋根を固定せず、基準値で観客席等は建てておいて、利用時にだけ屋根を設置するような構造にできないか。可動式も今の技術なら可能ではないか。

(座長)

技術的にはドームが開閉できるような技術もあるので不可能ではない。ただし、建築費が非常に高額になる。テント程度のものであれば可能であるが、雨が隙間から入り、防ぐことは難しく、日除け程度のものである。屋根構造については、事務局で検討いただきたい。

(委員)

極めて悪天候の場合、競技自体が開催されないと思うので、このように発想を変えて頂くのも一つの方法と考える。

(委員)

ロンドンオリンピックの主会場を視察する機会があったのだが、オリンピック開催後の現在、主会場はリサイズされていた。設備を外せるものは外し、売れるものは売っていた。客席も販売していると伺った。こうした事例をみていると、違うアイデアというのは重要だと思う。また、金亀公園との一体利用は、彦根市としても大事なポイントになると思われるので、協議の上進めて頂きたいと思う。施設の高さについては、最初に高く、大きいものが需要であれば、ロンドンオリンピック会場のように、それに見合っ

た形で整備し、後で小さくすることも可能と考える。是非検討いただきたい。

(座長)

10 年後のニーズ等も考え、違う発想も大事だと思う。懇話会は、もう 1 回の開催を予定しているので、再度議論したいと思う。

4. その他

- ・次回懇話会は、本日の意見を踏まえ事業計画等を提示する予定。6 月の上旬の開催で調整中。

5. 閉会

以上